

平成28年度 北海道函館中部高等学校（全日制課程）学校経営評価

めざす学校像	めざす生徒像
1 生徒の学習意欲や学校生活を盛り上げる学校	1 真理を追究し主体的に学習する生徒
2 生徒一人ひとりの進路希望を実現する学校	2 自らの目標の実現をはかる生徒
3 地域や保護者から信頼される学校	3 心身ともに健康な生徒
	4 他者を理解する生徒

部長・主任（10名）による評価（4：十分 3：ほぼ十分 2：やや不十分 1：不十分）

	経営方針	今年度の目標	評価の観点	評価	27年
学 校 経 営	1 学校運営について共通理解を深め、協働体制を確立して学校経営の合理化を図る。	①組織的な学校運営を行う。	・各分掌、各学年の機能を明確にした協働体制ができているか。	① 3.2	3.1
		②教育課程の見直しと編成を行う。	・カリキュラムマネジメントの視点に立った見直しと編成を行ったか。	② 3.1	2.8
	2 学校課題の解決を目指して、計画的な研修と実践に努める。	①すべての生徒の学力向上をめざして授業改善を行う。 ②生徒の自主的・自立的な学習習慣の確立を図る。	・アクティブラーニングを推進しているか。 ・生徒の進路希望が実現したか。	① 3.1 ② 3.0	— 2.8
3 家庭及び地域社会との連携を一層密にして、その期待に応える教育の推進に努める。	①教育情報を家庭、地域、中学校に発信する。 ②生徒の課外活動や地域活動の充実を図る。	・HPを活用した発信を綿密に行ったか。 ・家庭、地域へ説明責任を果たしているか。 ・地域に生徒の姿を見せているか。	① 3.1 ② 3.0	2.8 3.0	

領域	対象	指導上の重点事項	評価	27年
教 育	学習指導	1 生徒の能力・適性の的確な把握と授業の充実に努める。	3.2	3.0
		2 学習評価の研究を深め、生徒の自主的・自発的な学習習慣の育成に努める。	2.9	2.6
		3 医学進学類型に即した教材の開発と活用に努める。	2.7	2.9
		4 英語教育の研究開発と国際理解教育の充実に努める。	3.6	3.4
活 動	進路指導	1 学年・学級・教科との連携を密にし、明確かつ計画的な指導に努める。	3.0	3.1
		2 情報提供と資料の充実を図り、生徒の個性、資質を活かす指導を目指す。	2.8	3.0
		3 進路シラバスの定着化とキャリア教育の充実に努める。	2.8	2.8
		4 生徒・保護者・地域のニーズに応える進路実績の向上を図る。	3.1	3.1
動	生徒指導	1 生徒指導についての共通理解の深化と指導体制の確立に努める。	3.0	2.5
		2 集団指導を充実し、自治的精神の育成と望ましい人間関係の確立に努める。	3.2	2.9
		3 基本的な生活習慣の確立と、自己教育力を高めるための指導を充実させる。	3.1	2.9
		4 自主性と社会性を重視した学校行事や部活動の充実に努める。	3.3	3.3
健康・安全指導	健康・安全指導	1 健康の保持増進と精神衛生に関する指導の計画的な推進に努める。	3.3	3.2
		2 保健委員会の組織を通して、保健・安全への自主的行動の育成に努める。	3.2	3.0
		3 校舎内外の環境の整備と美化の徹底を図る。	3.1	2.9
		4 特別支援教育への理解と校内指導体制の充実を図る。	3.2	3.1

平成28年度 教職員による自己評価

評価基準 評価 4：十分 3：ほぼ十分 2：やや不十分 1：不十分

部署名	評価項目	評価	分掌内の実施内容・反省点・問題点・解決すべき事項など
総務部	重点目標 1 学年、分掌および事務部との連携を密にして、円滑で効果的な公務運営を図り、学校課題の解決方法を探るために情報や資料の収集、整理、提供および発信に努める。	4	「儀式的学校行事・全校集会」 ・例年通り計画。概ね良好に実施できた。 ・入学式・卒業式後に職員アンケート。可能なものから改善。 ・パイプ椅子 「学校説明会」 「学校見学受入・進路説明派遣」 ・中学生受入6件 PTA受入2件 中学校派遣7件
	2 儀式等学校行事並びに PTA 関連行事については、伝統や目的、性格を考慮した上で効果的に実施できるよう、常に工夫を加えながら改善に努める。	3	「校内研修」 ・6月カリキュラム 11月保健部 11月進路指導部 「PTA活動」 ・クラスからの委員の選出で学年、担任の先生のご協力に感謝します。 ・PTA入会式の改善→活動をより理解させ、積極的な活動への参加を呼びかける ・白楊祭協力体制 レストランの維持 バザー 着付け ・PTA だより 2回発行
	実践事 1 儀式等学校行事については他分掌との協力体制を確立し、効果的な企画、運営を図る。	3	「諸会議・反省会議」 ・各月学年会議 設定困難な月も(4・7・9月) ・中間反省会議、年度末反省会議  「函中だより白楊魂」 ・2回発行 市内中学校他に配布  「奨学金」 ・第1期 申込97名(現3年83名 過年度14名) 第1種採用(併願含)35名(現3年28名 過年度7名)…昨年度39名 不採用4名(現3年4名)…理由：収入が多い、一種が駄目だった場合、二種に申し込んでいない ・第2期 申込5名(現3年5名) 結果は2月中旬
	2 教育資料の印刷、整理、保管および利用について工夫する。	4	
	3 学校と保護者の協力関係を深め、PTA 活動の目的が達成されるよう努める	3	
	4 他分掌、関係職員と連携し校内研修を推進する。	4	
5 本校の教育活動を保護者や地域に発信し、一層の理解が得られるよう努める	4		
6 中間と年度末に各分掌、学年の反省会を設け、更なる校務運営の改善に努める。	3		
教務部	重点目標 生徒・保護者・地域の多様なニーズに配慮しつつ、本校の教育目標実現のため、効果的な学習指導法の研修、校務規定の改訂をすすめる。 1 部内・校内において、教務に関わる研究・研修を行う。 2 日常の授業が円滑に行われるよう、連絡調整に留意する。 3 3年間を見通した学力向上のための方策を研究する。		
指導の重点	1 適切な時間割運用	3	①授業時数の均衡化に努めたが、制約の多さから十分に実現できなかった。 ②分掌、学年が授業時数確保のために協力してくれている。 ③朝学習の実施 ④教員配置の関係で時間割変更がしづらい時間割となっている。①学習状況調査の質問項目を全学年で共通化し、実施した。
	2 生徒の学習状況把握と検討・研修	4	
	3 シラバスの効果的 運用	4	①シラバスを HP への掲載できた。 ②冊子にせず各教科科目で授業内で指導している。 ③1, 2 学年の英数国教科はシラバスへ朝学習実施を記述する。
	4 入学者選 抜の改善	3	教務、入学者選抜委員会で学校裁量の基準について意見交換を今後行う。 入選業務終了後、反省を行う。 ヒューマンエラーをなくする。 放送設備に不安がある。
	5 諸帳簿作 成の統一 化	3	①成績処理について。 教務支援システムの利用も円滑になってきた。 ②データ入力ミス。 教務支援システムへの出欠入力が遅く、HR 担任が時数オーバーの生徒の把握指導が遅れるケースがあった。
	6 科目選 択 指導の徹 底	3	①科目選択指導で教務、学年、教科連携は昨年度よりはとうまくとれた。 教科書需要数報告は7月、11月
	7 教務内規 の見直し	3	①内規の問題点については今後も検討する。

進路指導部	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導を通して自己理解を深めさせるとともに、生徒個々の進路目標の実現を支援する。</li> <li>・生徒・保護者・教員が進路に関する様々な事項について共通理解できるよう、情報提供に努める。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○模試分析会（1・2年12月）・進路検討会（3年12月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する多くの先生方に参加頂いた。</li> </ul> </li> <li>○出願検討会（3年1月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と生徒の間で事前面談が行われることで、検討会がスムーズに進んだ。</li> <li>・議論が白熱した場合、会議が長時間にわたってしまうこともやむを得ない（以前、急遽2日日程にわけて実施したこともあった。）</li> </ul> </li> </ul>
	実践事項	(1) 各学年や教科との連携を強化し、進路に関する状況について共通理解を図る。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小論文指導・面接指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接指導では、数名の教員をグループ化して指導するやりかたがうまくいっている <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の普通教室を面接指導に自由に使えるようにした。</li> </ul> </li> <li>指導場所に困るという声はあまり聞かれなくなった。</li> </ul> </li> <li>○出願関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦の出願に関しての生徒指導を早期に行えば良かった。</li> <li>・調査書の発行手順について、うまく方法を定められた。</li> <li>・過去の推薦・AOの問題の蓄積が欲しい</li> </ul> </li> <li>○情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高大接続改革に関する校内研修会を実施した。内容についても概ね好評だった。</li> <li>・予備校各社の説明会などには多くの先生方に参加していただいた。</li> <li>・進路情報の発行がほとんどできなかった。</li> </ul> </li> <li>○個人面談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年任せになっている部分もあるが、担任を中心にしっかりとやっていただいている。</li> </ul> </li> <li>○講習（秋期・土曜・冬期・直前）および模擬試験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし</li> </ul> </li> <li>○自学会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生が合同で実施。1年生にとっては良い刺激になる。</li> <li>・もう少し参加の輪を広げたい。放課後残って学習をする集団が出てくるような下地づくりにしたい。</li> </ul> </li> <li>○未来ポートプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の協力を継続的に得ることが難しく、今年度は実施できなかった。</li> <li>・3月に1年生向けに職業講話を実施予定。そのための事前指導も系統だてて行っている。</li> </ul> </li> <li>○大学個別相談会（全学年10月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備、当日進行、事後まで概ね問題なく実施。大学からの生徒評価も好感的。</li> <li>特に準備においては4校時の進路委員の手伝いがあったので、スムーズに開始できた。</li> <li>・案内を送る大学の再考（海外大学の説明ブースとか置けるか）案内を送っているが、来てくれない大学についてうまく交渉したい</li> <li>・木曜実施のため、多くの大学が説明会終了後に早急に帰ってしまうため、情報交換会の参加大学が限られてしまう。金曜実施は不可能か。</li> </ul> </li> <li>○進路講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員向けの小論文講演会について、もう少し書き方指導に特化した講演会であっても良いのではないか。</li> </ul> </li> </ul>
		(2) 有用な情報を把握・収集し、適切な時期・場面で提供する	3	
		(3) 生徒理解を深めるため、個人面談の充実を図る。	3	
		(4) 実テ・模試・講習については、実態に合った内容で実施するよう逐次検証に努める。	4	
		(5) 低学年からの自己理解や職業・学部学科理解を支援する。	4	
		(6) 大学相談会やオープンキャンパス参加、進路講演会や卒業生との交流、医療系を中心としたインターンシップなど、進路行事の実施を通じてキャリア教育の充実を努める。	3	
その他	4			
生徒指導部	重点目標	進学校としてのけじめある自主自律の確立	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>①校内規律の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関遅刻指導の統計です。今年は8時25分から朝学習を始めましたので、参考までに玄関時点での登校延べ数も( )内に記載しました。</li> <li>H28 4月～12月 延べ人数</li> <li><b>1年43名 2年68名 3年559名</b></li> </ul> </li> </ul>
		自らの意志で問題を解決し、明確な針を確立できる生徒の育成	3	
		自他共に生命を尊重し、安全を考えた生活が出来るようにさせ、交通安全・薬物乱用防止指導の徹底をはかる	3	
	①生徒が校外外で生活をするうえでの規律やルールについて、自らが責任をもって行動できるように教職員が共通して取り組めるよう計画実践につとめる。	3		

		②日常生活から常に安全を意識させて自他共に生命尊重の行動をとれるようにする。また、交通安全・薬物に関する講演等を企画し、意識高揚につとめる。	4	(1年173名 2年259名 3年599名) (昨年度 4月～12月 延べ人数 1年74名 2年158名 3年90名) (一昨年度 4月～12月 延べ人数 1年41名 2年40名 3年102名) ・今年度は生徒指導事故がありませんでした。(昨年3件)。先生方の協力に感謝します。 ・第1学年で1月の学力テスト日に、開始直後、机内に私物が残っていて監督に注意されたということがあり、当該生徒に指導部長注意を申しました。
		③教職員間の緊密な情報交換を行い、事故を未然に防ぐとともに生徒が基本的な生活習慣を確立し、充実した学校生活を送れるように支援する。	3	②交通安全・薬物乱用防止 ・講演会はともに1回ずつ実施。自転車事故の報告が11件(昨年13件)ありました。昨年同様に1年生が半数を占めています。講演会は、現実的な内容のものを依頼しました。 ※5月～7月…駐輪場にて自転車の整頓を呼びかけました。 ・3年生の自動車免許関連の書式提出後、今年から生徒に「許可書」を発行しました。(2/7時点で14名の入校許可書発行) ③事故の未然防止 ・金銭の盗難が6件ありました(昨年3件、一昨年6件)。7月に集中しています。集会で全体指導しました。 ・遺失物が106件(昨年150件)とかなりの数あります。弁当箱が目立ちました。放課後の貴重品管理や遺失物意識が薄いようです。 ・情報モラルに関し、動画撮影に対しての指導を数件しました。(7月学校祭1件、9月体育大会時1件、1月遠征時1件)
生徒会部	重点目標	1. 主体的な生徒会活動を通し、自主・自立の精神を育成する	4	【各種委員会】●活動が活発でない委員もあり、委員会の再編や活動内容の検討が必要か。 【生徒総会・部局紹介・対面式・生徒大会】●概ね予定どおり実施できた。 【役員選挙】●生徒会総務の役員の確保がなかなか難しい 【壮行式】●地区大会時では多々確認不足が目立ったが、全道大会時は改善できた。 【白楊祭】●3日間通じて、概ね予定通りに実施できた。(プログラム等の時程には、いくつか誤記があった。) ●白楊レストラン等、昨年の変更点は概ね円滑に運営できた。●物品移動は、テープでのマーキング等が功を奏し、スムーズだった。●2年生の展示発表は例年にも増して濃い内容の取組だった。●同時に、展示発表のパネル希望数が多くなり、生徒会からの貸出パネル数には今後上限が必要。 ●前庭テントの確保・返却等の確認が必要●パフォーマンス時の衣装等に使用したピンがフィールド上に落ちていて競技場役員も含め迷惑をかけた。 ●LMCのリハーサル・本番共に、予定時間を超過して静止指示にも従わない。クラブへの指導や発表取り止め・時間の短縮、制限が必要。●駐車場(グラウンド)には誘導係が必要か。●今後、雨天時の代案等の検討が必要。 【体育大会】●抽選会は事前説明や、男女別の抽選会場を設けるなど工夫し、スムーズに行えた。●当日リレーのスタート地点への誘導には手間取った。 【予餞会】●吹奏楽局、有志の発表等で盛り上がりを見せた。●今後も教員の舞台出演に頼らず、生徒自らが企画する行事として発展させることが必要か。●ピンゴは1、2年生も楽しめる内容だったので、次年度も全学年が楽しめるような企画があると良いのでは。●ステージでのリハーサル(照明、音響、等)において準備不足があった。 【部活動】●文化系、運動系ともに各部の活動は活発に行われた。●生徒大会でも発言のあった弓道場の防矢ネットをはじめ、活動環境の整備を学校側に打診した。●校舎内の使用において定時制の授業中に迷惑をかけることがあった。
		2. 生徒会活動全般について、改善点を抽出し、見直しを図る	3	
	実践事項	1. 定期的に執行部会議等を開き、各種行事等の計画的な運営に努める	3	
		2. 生徒大会と各種委員会の円滑な運営と活動内容の充実に努める	4	
		3. 生徒会(本校)の活動を生徒や保護者、地域に周知させる広報活動に務める	3	
	4. 外局との連携を密にし、諸活動の充実に努める	4		
	5. 南茅部高校など、他校の生徒会との連携を図り、活動の活性化に努める	2		

保健部	重点 目標	1 自他の生命を尊重し、心身の健康の保持増進を実践する態度を養う	3	①心の健康、性教育、ジェンダーの計3回の講演を実施
		2 校舎内外を清潔で安全な学習環境に整備し、美化意識を育む	3	①掃除用具点検と補充を年度初め休業で実施 ②大掃除を長期休業前後で実施(今後ともご協力お願いします)
		3 安全管理体制を確立し、事故防止の強化をはかる	2	①心肺蘇生法研修会は、消防署との日程調整ができず未実施 ②エビペン使用の校内研修を実施
		4 心身の健康を積極的に支援する教育相談および健康相談の充実をはかる	3	①教科担任面談の形で、各学年に希望者面談を実施依頼 ②SC実施回数9回、延べ人数17名(生徒12名、保護者3名、教員2名)の利用あり。道立高等学校SC派遣拡充事業に申請し1日4時間×2回のSCが配置された
実践 事項	1 健康診断・保健調査・健康観察・生活状況把握等による生徒の心身の健康状態把握と、迅速且つ的確な処置に努める	3	①検診の際の教科担任の引率・監督等ご協力ありがとうございました ②貧血検査(1学年実施)の実施について、中間反省会にて意見を伺った	
		3	①精神科等の医療機関と既につながっている生徒が多くなって ②必要に応じ特別支援委員会を開催した ③談話室への相談目的の来室は0件だが、面談・相談などで多くの先生が利用した	
		4	①各種検査を実施。その都度指導を受けた ②部活動の生徒が廊下のモップ掛けを自主的に行ってくれた	
		3	①階段昇降機、AEDの安全管理を行ってもらった	
図書 情報部	重点 目標	◎情報処理業務 ・生徒データの集中処理、一元管理と有効活用、および作業の効率化、合理化を推進する。	3	
		・校務支援システムの円滑な有効活用に努める。	3	
		・校内LANおよび情報処理機器の有効な活用に努める。	3	
		・情報のセキュリティに関する調査・研究を進める。	3	
	◎図書・視聴覚業務 ・読書指導の充実に努める。 ・読書への興味を喚起し、日常的な読書習慣の向上に努める。	3 3	・読書感想文コンクールへ4名参加(うち3名道南支部入選、うち1名全道優良賞) ・図書室内外での新刊展示 ・4月からの来館者数のべ2751名(前年比約50%増) ・" 貸出冊数401冊(前年比約20%減)	
	実践 事項	◎情報処理業務 ・校務支援システムの円滑な利用の推進を図る。	3	・在籍生徒データ管理等 ・校務支援システムの管理・運営 ・成績処理業務
		・校内LANの円滑な利用の推進を図る。	3	・動画ファイル(大)の削除
・情報のセキュリティ関連の情報を収集し、広く共有に努める。		3	・適宜実施	
◎図書・視聴覚業務 ・各教科とも連携し、高校生にふさわしい図書の選定を図る。 ・図書局員、図書委員の図書業務能力の向上に努める。 ・視聴覚資料、備品の整備を図る。  ・定期的な広報の発行に努める。	3 3 3 3	・図書の購入は、入館者・先生方の希望を一部取り入れながら選定を実施  ・道南地区図書生徒研修会へ5名参加(6/27ラ・サール高校) ・全道図書研究大会へ2名参加(10/13・14北見市) ・視聴覚教室内整頓  ・新着図書案内No.1~4発行、らいぶらりいNo.1発行		

平成28年度学校運営に関する学校関係者評価（学校評議員・PTA役員計11名）

Aーそう思う Bーどちらかと言えばそう思う Cーどちらとも言えない  
Dーどちらかと言えばそう思わない Eーそう思わない

全日制課程

※各項目のA～Eに該当するものに○をつけてください。

	No.	評 価 項 目	A	B	C	D	E
学 校 の 運 営	1	学校の教育目標や重点目標は、生徒や保護者、地域の要望にそったものであるか。	4	5	2		
	2	学校は、目標の達成や課題の解決に努力しているか。	9	2			
	3	学校は、生徒や保護者、地域の期待に応えているか。	8	3			
	4	学校には、子どもを入学させる魅力があるか。	1	1			
	5	学校の施設や設備の管理は、適切に行われているか。	6	5			
情 報 の 提 供	6	学校の教育目標や重点目標がわかりやすく示されているか。	5	6			
	7	学校は、教育活動に関する情報を保護者や地域に適切に発信をしているか。	5	4	2		
	8	教育活動に、保護者や、学校評議員、地域の意見が取り入れられているか。	7	1	3		
学 習 生 活 指 導	9	学校は、授業を大切にし、わかりやすい授業を行っているか。	4	5	2		
	10	学校は、交通安全、性教育、薬物乱用防止など、生徒の健康安全に関する指導を十分行っているか。	8	3			
	11	学校は、生徒の服装や身だしなみ、言葉遣い等の指導を十分行っているか。	7	3	1		
生 徒 会 活 動	12	生徒は明るく生き生きと学校生活を送っているか。	8	2	1		
	13	部活動やは活発に行われているか。	9	2			
	14	生徒会活動や学校行事は活発に行われているか。	9	2			
進 路 指 導	15	学校は、生徒の進路希望を叶えるため充実した進路指導を行っているか。	6	5			
	16	学校は、生徒の実力向上のため、講習や模擬試験の実施を適切に行っているか。	9	2			
	17	学校は進路指導の結果で、生徒や保護者の期待に応えているか。	5	5	1		
教 職 員	18	本校の教職員は、お互い協力して教育活動に取り組んでいるか。	9	1	1		
	19	本校の教員は、工夫して授業を展開しているか。	8	1	2		
	20	本校教職員の来客への対応は適切であるか（電話対応や挨拶等）	9	2			

- ・感想等あればご自由にお書きください。
- 今年度も授業を見せていただいたが、生徒の集中力を引き出すアクティブな学びへの先生方のチャレンジが見受けられた。
- 子ども達一人ひとりの性格や特徴、日頃の生活態度等を細かく把握し、その子その子にあった声かけをして、やる気を引き出してくれる先生方の努力には頭の下がる思いがします。「中部に通わせてもらって本当によかった」と、心から思っています。ありがとうございます。
- 担当のクラス以外の生徒のこともよく知り、いつも誉めて励ましてくれる先生方に心から感謝しています。
- 授業は生徒によってわかりやすさの差があるようです。補習はとてもわかりやすくしてくれているようです。
- 人見知りのため不安な日々を送っている生徒もいるが、全体的に生徒は明るく学校生活を送っている。
- 親子共々、楽しく学校生活を送ることができました。

